

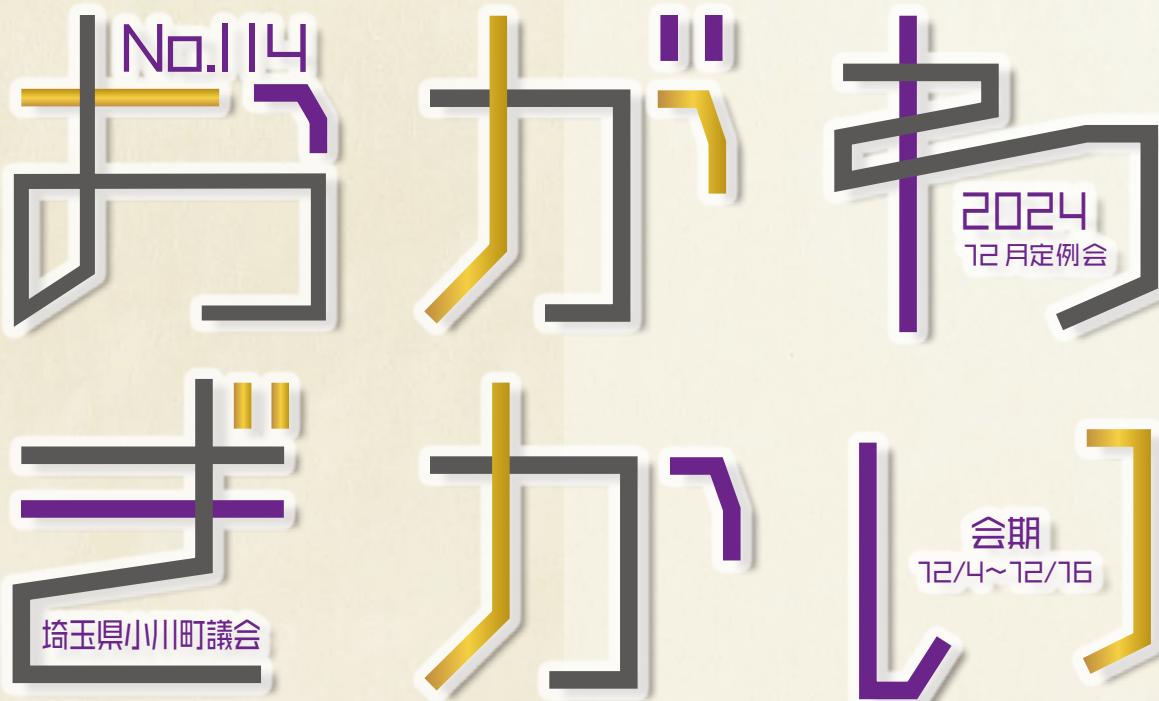
「小川和紙マラソン」ゴールは目前！ラストスパート!!

特集 P.2-3
 「細川紙」の紙漉き技術
 ユネスコ無形文化遺産
 登録から10年
 1300年 時代を超えて
 受け継ぐ「技」

P.6
 総合福祉センター
 「パトリアおがわ」の方向性
 全6部屋に
 エアコン設置
 貸館業務の早期再開へ



裏表紙に関連記事



P.12
 議員の聴く×つなぐ
 和紙作りを支える
 楠かしき・楠むき
 を取材



P.11
 本格的な議論がスタート
 「議員定数を検討する特別委員会」
 16人の大きな一歩

特別号の表紙に使用した画像は、いずれも当町が誇る「細川紙」です。右手は「細川紙技術者協会」前会長の故・鷹野禎三氏が平成14年に漉いた紙で、左手は現会長・内村久子氏が漉いた紙です。時間の経過とともに「白さ増す」和紙は、天然素材（国産楮・町内産トロロアオイ）の証。1300年を超えて受け継がれてきた伝統の「技」をさらに後世へ！議会も応援しています！和紙に合わせてあしらった2色は「紫色」と「金色」。優れて価値があり気品漂う「高貴」なさまと細川紙のユネスコ無形文化遺産登録「10周年記念」をイメージしました。

和紙：日本の手漉き和紙技術

「細川紙」ユネスコ無形文化遺産登録から10年

世界に誇る「細川紙の紙漉き技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから、10年の節目を迎えました。島根様々な取組にチャレンジしてきた10年。世界遺産の「京都・元離宮二条城」を会場に開催された記念事業を取材。

登録 平成26年11月27日

10



小川町

和紙の語りべとして

小川町の魅力を、和紙が歩んだ様々な出来事を通して語り続けて20年。ユネスコ無形文化遺産登録は最大の喜びでした。10年を迎えた今、手漉き和紙を守りながら継承することが求められています。和紙に加えて原材料を活用した商品開発や和紙に惹かれる外国人も多いことを実感しており、まず小川の人々が知って内外にアピールしましょう。

新田文子図書館長



毎年11月27日は 「小川和紙の日」

条例の見直し・強化へ

細川紙を含む小川和紙全体の発展や、伝統文化の継承・産業振興に向けた取組に、それぞれの立場で努めた内容。「十年一昔」となった条例を、時代と実情に見合った、より実効性のあるものにするべく、プラッシュアップしています。

「チーム小川和紙」の一員でもある議会の役割・機能を明確にし、さらに強化を図っていきます。



小川和紙の日
を定める条例

図書館では、節目を祝う展示会を開催。10年前に漉かれた細川紙の展示も。



町民の皆さんの支えが頼り

ユネスコ登録から10年の節目を機に、改めて「継承」していくことの苦労と苦惱に触れた。生き残りをかけた次の10年に向けて、町民の皆さんの支えが頼りである。まもなくリニューアルオープンを迎える「道の駅おがわまち」のコンセプトの1つは「手漉き和紙」。1300年の歴史・伝統・文化を伝える施設の機能はもちろんのこと、期待するべきは「現在と未来」。これから時代にマッチした手漉き和紙の在り方を発進していく拠点となることを望む。



細川紙技術者協会の皆さんと緊急対談

内村久子会長（後継者育成事業1期生）写真：中央
世界に認められた技で漉いた細川紙は小川町の宝物。この素晴らしさを町民の皆さんと共有していきたいです。

大木ゆき江副会長（後継者育成事業2期生）写真：左
小川・東秩父地域の風土や人々を切り離して技術だけ残していくことはできません。皆さんと一緒に町の宝・細川紙を大事にしています。

内田茜さん（後継者育成事業3期生）写真：右
細川紙は江戸時代から「大切なことを伝えるための紙」として利用されてきました。歴史と伝統がある紙漉き技術を継承し、これからも研修に励みます。



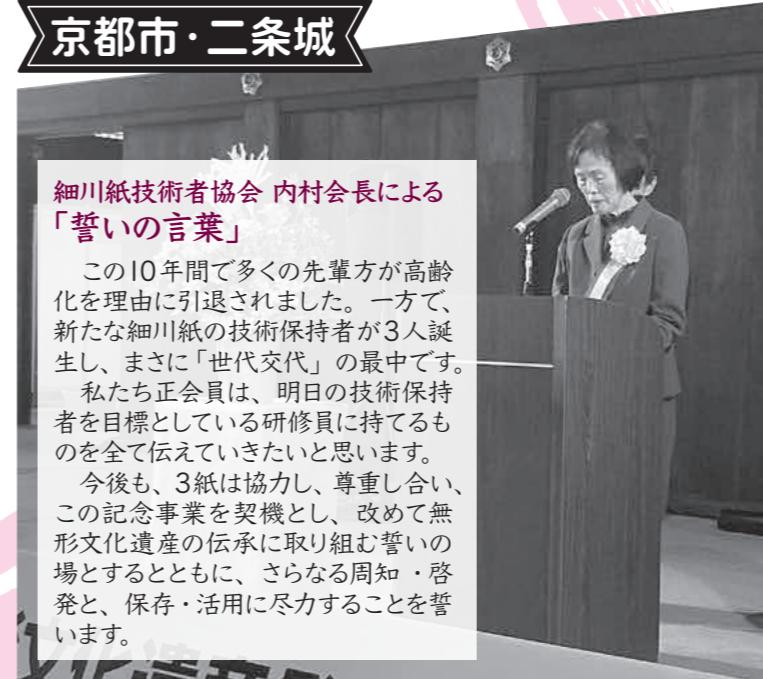
京都市・二条城

細川紙技術者協会 内村会長による 「誓いの言葉」

この10年間で多くの先輩方が高齢化を理由に引退されました。一方で、新たな細川紙の技術保持者が3人誕生し、まさに「世代交代」の最中です。

私たち正会員は、明日の技術保持者を目標としている研修員に持てるものを全て伝えていきたいと思います。

今後も、3紙は協力し、尊重し合い、この記念事業を契機とし、改めて無形文化遺産の伝承に取り組む誓いの場とするとともに、さらなる周知・啓発と、保存・活用に尽力することを誓います。



「職人」の維持と誇りが伝わる数々の言葉



ワークショップでの
水切り工芸体験

3紙連携で持ち味を生かした
ワークショップを開催

12月1日京都市二条城で
10周年記念イベントを開催。
議員が取材に行きました



インバウンドを含む来場者に紙漉き技術を披露する中野晴実さん

時代を超えて受け 繼ぐ唯一無二の技

議員が質した 聞いてわかつた 私たちの町、どうなつてゐる?

今次定例会（12月4日～12月16日）では、令和7年4月の「小川中学校開校」に向けての準備や、パトリアの基本的方向の決定、さらに物価高騰に伴う学校給食への補助など一般会計補正予算（第5号）を審議しました。また風の子学童クラブが、保護者負担軽減のため「指定管理」となる条例改正など、18議案を審議。その中から町民生活に身近な質疑をピックアップします。

一般会計補正予算

小川中学校の開校に向け取組が加速 未来に繋ぐ想いを紡いだ「校歌」の制作へ

Q 作詞・作曲ともに、どのようなコンセプトを持つて制作しているのか。

A 中学校統合準備委員会に設置している作業部会において、制作方法やコンセプト等を検討し、作詞及び作曲を行つてもらえる方を選定したいと考えています。特にコンセプトについては、町の自然や歴史が盛り込まれ、中学生が歌いやすい曲調となるよう進めていきます。また、令和7年秋頃に実施の「小川中学校開校式典」で発表を予定しています。



新校開校に向けた營繕は

Q 示された營繕費には「校舎の外壁塗装」は含まれていないようだが、今後の方向性等は。

A 開校に向けた改修については、これまでに教室の空調設備やトイレの洋式化、照明のLED化、体

育館床の補修など、生徒の学校生活に影響が出ないよう「内装」を優先して行つてきました。

また、今回の予算では「櫻台中」から「小川中」への校名や校章の変更に必要な工事等を予定しています。校舎の外壁塗装は、櫻台中開校から25年以上が経過している

ため、外壁改修も含めた対策が必要と捉えています。国の補助制度を活用し、開校30年となる令和10年度の実施を見据えて取り組んでいます。

Q 「リリックおがわホール棟の解体」に向け、約1億円の施設改修費等が示されたが、詳細は。

A 現在使用中であるコミニユーティ棟の電力供給を確保するため、予定しているホール棟の解体に先立つて、キュービクル（高圧受電源）の更新を要しています。

また、現在の受変電設備は、ホール棟機械室の屋上に設置され、老朽化も進んでいますので、対策が必要です。

更新工事に係る設計図書や品質を満たしているかなどの管理業務を含む予算となっています。

Q 「仙元山見晴らしの丘公園」のシンボルでもあるローラー滑り台のローラー交換が必要とのことだが、状況等は。

るなどの経路を想定し、計算しています。

駐輪場の改修工事

Q 当初予定していた角山地内への整備を取り止め、現櫻台中学校の駐輪場の改修に変更となつたようですが、経緯等は。

A 令和7年4月の開校に合わせて測量や造成・整備工事を予定していたため、先行して予算確保が距離の算定は適切か。

一方で、その後の統合準備委員会や学校側から「校舎・職員室からの視認性や管理が困難」「街路灯がなく、人通りが少ない」「西中学校との統合では既存駐輪場の改修で対応可能」などといった意見を聞く中で、当初の予定から変更となりました。今後は、同様の状況が生じないよう、関係者・関係課との情報共有と意見交換を慎重

に行い、計画的な予算計上に努めています。



発言全文（小川町議会会議録）は3月上旬から議会ホームページで閲覧できます。



